

ヨーロッパ初旅行とDX



山下 晶子

きらり経営コンサルティング 代表
中小企業診断士/ITコーディネーター

Akiko
Yamashita

7月にフランス・オランダ・スイスを巡る初めてのヨーロッパ旅行に出かけました。歴史ある街並みや雄大な自然に感動しつつも、移動や支払いにおけるデジタル化の便利さに驚かされる旅となりました。

パリ：スマホひとつで

最初の目的地はパリ。地下鉄、RER(高速郊外鉄道)、バスを駆使して観光しましたが、切符はすべてスマホアプリで購入。「Bonjour RATP」や「IDF Mobilités」を使えば、日本の「モバイルSuica」と同じ感覚で改札を通れます。紙のチケットは2025年末で廃止予定と聞き、「もう時代は完全にアプリ」と実感しました。私は1日乗り放題の「Navigo Jour」(12€)を活用。ベルサイユ宮殿やルーヴル美術館を巡る移動の際も、切符を買う手間がなく快適です。言葉に不安があっても、スマホさえあれば心強い——そんな安心感がありました。

高速鉄道とユーレイルバス

次の目的地はオランダ・ロッテルダム。高速鉄道TGVで移動するにあたり、お得な「ユーレイル・グローバルバス」を利用しました。私は1か月間のうち4日間自由に使えるタイプ(212€)を購入。アプリ「Rail Planner」で列車を検索し、必要なら座席指定を追加購入します。パリのTGV出発駅は高松駅のような頭端式ホーム。改札がなく、出発15分前までどのホームに列車が来るかわかりません。掲示板に表示された番号を頼りにプラットフォームへ急ぎ、駅員がQRコードを端末で確認します。車内は向かい合わせの4人ボックス席になっていて、座席の向きを変更できる日本の列車とは違う向かい合わせの雰囲気によって緊張しました。

ロッテルダム：便利な交通機関と自転車の街

ロッテルダムでは自然と近代建築が共存する街を堪能しました。1日券(13.50€)を買えば地下鉄やバス、水上バスまで乗り放題。世界遺産の風車群「キンデルダイク」へは水上バスで向かい、帰りはバスと地下鉄を乗り継ぎ、現地人の気分を味わいました。街では自転車の存在感が圧倒的。専用レーンが整備され、電車やバスにもそのまま自転車を持ち込めます。高松も自転車王国ですが、走りやすさは格段にロッテルダムが素晴らしく、「まさに自転車王国！」と感心しました。

トラブル発生！路線不通で大ピンチ

ところがスイスへ向かう日、最大の試練が待っていました。計画していた路線が故障で不通、飛行機も満席で、ホテルにたどり着けないかもしれない状況に。駅で立ち尽くし「野宿かも…」と血の気が引きました。なんとか冷静にと自分に言い聞かせ、頭に浮かんだのがChatGPT。質問すると「夜行バスがあり

ます！」と教えてくれました。予約サイトへのリンクも表示され、スムーズに予約することができました。バスと鉄道を乗り継ぎ、無事目的地モントルーに到着。長距離移動でしたが、朝日に輝くフランスの田園風景を楽しむことができました。

ユングフラウヨッホ：天空の絶景

スイスでのハイライトはユングフラウヨッホ観光。ユングフラウ地方は、スイスを代表する名峰アイガー、ユングフラウ、メンヒが連なります。グリンデルワルトから最新ロープウェイ「アイガー・エクスプレス」に乗れば、わずか15分で氷河駅へ。その後は山脈の地下を走る鉄道に乗り換え、標高3454mの「ヨーロッパ最高地点の駅」に到着します。展望台から眺めるアレッチ氷河や目の前にメンヒの山頂も望むことができ、絶景に感動。雪原を歩くことができ、大自然を体感しました。グリンデルワルト駅からの交通は混雑緩和のため事前予約が必須ですが、これもWebで完結し、QRコードでスムーズに入場することができます。

QRコードが支える旅

この旅で印象的だったのは「スマホですべて完結する」こと。列車や施設の予約はもちろんのこと、ショッピングはタッチ決済で、現金を使う機会はありません。公衆トイレもコインを入れる横にタッチ決済できる端末が埋め込まれていてコインも不要でした。列車や施設の利用時に皆がQRコードを利用しているのを見ると、日本で発明されたかと誇らしく叫びたい気分でした。

QRコードは1994年に日本のデンソーで生まれ、特許をオープン化したことで世界中に広まりました。2014年には欧州発明家賞を受賞するなど、その功績は国際的に認められています。費用が安く導入しやすいため、今や交通から観光まで欠かせない存在となりました。身近なところではJR四国が導入する「スマエき」アプリがあり、2024年度の売上は12億9300万円であり、売り上げは全体の5%とのこと。このようなDXは人件費削減やコストダウンだけでなく、利用者の利便性を大きく向上させています。

ヨーロッパの街を旅しながら、風景や文化に触れる喜びと同時に、DXが日常をどれほど便利にしているかを実感しました。切符購入に迷わず観光を満喫できたのも、スマホとアプリのおかげ。ただし、スマホが命綱であり、スマホの紛失(スリ)には注意しました。

「旅の快適さ」は、まさにDXの力で支えられている——そう強く感じた、忘れられない旅となりました。

中央会だより

JEPPCAとフィリピン人材受入れに関する覚書を締結

香川県中小企業団体中央会は7月29日、JEPPCA（フィリピン日本人材雇用コンサルタント協会）とフィリピン人材受入れに関する覚書を締結しました。

フィリピンの送出し機関の連合体であるJEPPCAには、多数の優良な送出し機関が加盟しており、日本をはじめ、欧米など世界各国へフィリピン人材を送り出しています。

今回の覚書締結は、香川県内の企業におけるフィリピン人材の適正な採用と受入れを支援するためにJEPPCAと中央会とで定期的な情報発信や緊密な連携を図ることで協力体制を確立しようとするものです。

フィリピン・マニラ市内のホテルで行われた調印式には古川康造中央会会長のほか、署名立会人として池田豊人香川県知事、綾田裕次郎香川県外国人材受入促進協議会会長（香川県商工会議所連合会会長）、また支援者として増田浩香川県外国人技能実習生受入組合連絡協議会会長らが同席しました。

最初に、エドウィナ レマ ビーチJEPPCA会長より歓迎並びに「二国間の協力と信頼関係の構築による持続的発展を期待したい」との挨拶をいただき、覚書内容の説明の後、鈴木在フィリピン日本大使館労働担当官並びに増田浩協議会会長より支援者挨拶がありました。

続いて、中央会とJEPPCAとの間で覚書の署名、並びに、香川県・香川県外国人材受入促進協議会とサイセス専門学校間において特定技能等のフィリピン人材の受入れ促進に向けた覚書の署名が行われました。

署名者挨拶で古川中央会会長は、監理団体として技能実習生等の受入れに取り組んでいる会員組合が増えていることに触れ「覚書の締結は非常に有意義。JEPPCAと良き



▲古川会長挨拶



▲池田香川県知事



▲増田協議会会長

パートナー関係を築き、強固な連携を図りたい」と述べ、池田香川県知事、アモリナDサイセス専門学校長、綾田受入促進協議会会長からも挨拶がありました。



▲左より古川会長、JEPPCA ノラ代表、池田知事、JEPPCA エドウィナ会長、綾田受入促進協議会会長

調印式の様子



翌30日にはダバオ市にあるミンダオナ大学を訪問、香川県・受入促進協議会がサイセス専門学校と同様、ミンダオナ大学と外国人材の受入れ促進に向けた覚書を締結しました。日本での就職を希望する学生等を対象にした日本語講座の開設などの日本語教育を香川県主催で実施することなどが盛り込まれています。

その他、フィリピン政府移住労働者省(DMW:旧POEA)にも訪問し、ハンス カウダック長官と面談、担当者より日本向け雇用促進デスク(ジャパンデスク)の説明を受けたほか、香川県のプロモーションも行われました。

9月24日には高松商工会議所大ホールにおいて、フィリピンの送り出し機関と会員監理団体とのマッチングイベントを予定しています。



▲移住労働者省(DMW)において

〈香川県外国人技能実習生受入組合連絡協議会加入のお願い〉

本協議会は、実習生の秩序だった受入れ、技能向上など、本事業の適正な運営を推進することを目的に、実習生受入事業に関する情報交換会・意見交換会、施策普及の為のセミナーや講習会の開催、調査研究等を実施しております。また、中央会が行う日本語能力向上講習会への助成協力も行ってまいります。ぜひご加入ください。

【問い合わせ】香川県中小企業団体中央会 連携支援課／TEL 087-851-8311

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	マスカレード・ライフ	東野圭吾	集英社・2,200円
2	国宝 上・下	吉田修一	朝日新聞出版・880円
3	大阪・関西万博びあ 完全攻略編	びあ	びあ・1,200円
4	大阪・関西万博持ち歩きガイド	宝島社	宝島社・990円
5	文庫版 近畿地方のある場所について	背筋	KADOKAWA・880円

香川県書店商業組合調べ

「金利のある時代」の中小企業の 環境変化対応

～『中小企業白書(2025年版)』を読んで～

VOL.1

プロフィール

桜美林大学リベラルアーツ学群教授 堀 潔

1990年慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。常磐大学専任講師を経て1994年桜美林大学経済学部専任講師。2003年より現職。2021年より副学長。現在、日本中小企業学会常任理事。一般社団法人中小企業産学官連携センター代表理事。公益財団法人大原記念労働科学研究所以理事・所長。著書に『地域とイノベーションの経営学～アジア・欧州のケース分析～』（桜美林大学ビジネス科学研究地域イノベーション研究グループ編：中央経済社）、『21世紀中小企業のネットワーク組織』（関智宏・中山健編書：同友館）など。



※本稿は全国中小企業団体中央会発行「中小企業と組合」より出典。文中に記してある図表番号や事例番号は『中小企業白書(2025年版)』に掲載されているものであり、本稿ではこれらの掲載は割愛したので、関心のある図表や事例、コラムに関しては、直接、『中小企業白書(2025年版)』

(<https://www.chusho.meti.go.jp/pamfilet/hakusyo/2025/PDF/chusho.html>)での確認をお願いしたい。

1. はじめに

～令和7年度『中小企業白書』の全体像～

令和7年度『中小企業白書』（以下『白書』という）は、『小規模企業白書』と併せて、本年4月25日に閣議決定され、公表された。

全体は昨年同様のシンプルな2部構成となっており、第1部が「総論」としての「中小企業・小規模事業者の動向」についての説明、第2部は、毎年の『中小企業白書』のテーマについての掘り下げた分析結果が紹介されている。これに「令和6年度において講じた中小企業施策」「参考文献」「図表索引」「令和7年度中小企業施策」「付属統計資料」も含めて、全体で約360ページのボリュームとなっている。昨年版が全体で約700ページであったことから考えるとずいぶんスリムになった。

9章で構成される第1部の、とくに第1～4章では、わが国経済の動向について概観するとともに、中小企業・小規模事業者の動向および金利、為替、物価、雇用といった中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境について概説している。第5～8章では、価格転嫁や賃上げ、倒産・休廃業や事業承継といった中小企業・小規模事業者が直面する課題と今後の展望について紹介している。なお、今回の『白書』では、従来は本文中で紹介していた13の先進事例企業を第1部最後の第9章にまとめて掲載し紹介している。

第2部のテーマは「新たな時代に挑む中小企業の経営力と成長戦略」。中小企業がさまざまな課題を乗り越え、成長を遂げるには、経営者の「経営力」の向上が重要である。『白書』では、「経営力」について、個人特性面（他の

経営者との交流、学び直しに取り組む経営者の成長意欲）、戦略策定面（経営計画の策定・実行、差別化や市場環境を意識した適切な価格設定等）、組織人材面（経営理念や業績等の共有を重視するオープンな経営や従業員を大切にす人材経営）の観点から分析を行い、経営力の向上が業績向上や人材確保に向けて重要であることを示した（『白書』第2部第1章）。また、そのうえで、中小企業が成長を遂げるには、売上高規模ごとに異なる「成長の壁」があること、それを打破するために中小企業やその経営者に求められるものについて考察している（『白書』第2部第2章）。

毎年の『中小企業白書』には、わが国中小企業の現状を理解するために有用な統計資料や調査結果が多数紹介されている。その一方で、内容説明を補足するための「事例」や「コラム」も数多く掲載されている。これらは『白書』の論旨を補強する「おまけ」のようなものにとらえがちであるが、先進企業事例や政府・地方自治体や各種中小企業支援機関が行っている中小企業支援スキームの動向を知るうえで非常に貴重な情報である。本稿では、これらの「事例」や「コラム」の一部についても紹介し、さまざまな課題に直面しながらも自らの成長に挑むわが国中小企業と、それを支援する人びとに何が必要なかを考えてみることにしたいと思う。

来月号に続く

10月号は『白書』第1部「令和6年度(2024年度)の中小企業の動向」について、11月号は『白書』第2部「新たな時代に挑む中小企業の経営力と成長戦略」、まとめて代えてとして「金利のある社会」をどう考えるか」について掲載予定です。

会員ニュース

大阪・関西万博「ローカルジャパン展」に出展

日本手袋工業組合

7月28日～31日の4日間、大阪・関西万博にて国内43の自治体が地元の特産品などを国内外の来場者にPRを行う自治体参加イベント「ローカルジャパン展」が開催されました。

このうち、東かがわ市では、国内で流通する手袋の9割を生産するメーカーが集まる日本手袋工業組合が手袋産業をPR。手袋職人が実際に使用しているミシンを持ち込み、来場者の目の前で一から手袋を縫製し、ミャクミャクカラーの革手袋を完成させ、加工技術の高さをアピールしました。

その他、香川県の讃岐うどんをモチーフにした綿100%のうどん手袋の展示や、革コインケースを作るワークショップが開かれ、多くの人が東かがわ市の魅力や文化に触れていました。



▲会場の様子

かがわ DX フェア 2025

DXのヒントが見つかる！

会場 サンメッセ香川
小展示場・特別会議室
入場無料
香川県高松市林町2 2 1 7 - 1

サンメッセ香川HP
(アクセスマップ)



2025.10.21 火

10:00-16:00

基調講演

DX事例や
支援策が分かる

講師選定中



展示ブース

《展示分野》

生成AI 業務効率化 マーケティング
製造DX インフラ セキュリティ DX推進支援 etc

45 ブース

詳細は協議会HPからご確認ください
<https://www.kagawa-net.org/index.html>



協議会HP

主催：かがわ情報化推進協議会

共催：香川マルチメディアビジネスフォーラム

協賛：四国情報通信懇談会

後援：香川県・総務省 四国総合通信局・(公財)かがわ産業支援財団

お問い合わせ先

事務局：香川県政策部 デジタル戦略課

TEL:087-832-3138



Facebook

毎年10月は加入促進強化月間です。

ご存知ですか？
「中退共」の
退職金制度

国の
退職金制度！

- 新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。
- 自治体等独自の掛金補助制度があります。
- 掛金は全額非課税で、手数料もかかりません。

外部積立型だから
管理が簡単！

- 従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。
- 退職金は、中退共から直接従業員へ支払われます。

◎ パートさんもご加入
いただけます。

詳しくは
ホームページを
ご覧ください。



お気軽にお問合せください

(独)勤労者退職金共済機構

中小企業退職金共済事業本部

☎03-(六九〇七)一二三四
☎03-(五九五五)八二二一

私たちが
サポートします!

県内企業の経営者・幹部の皆様へ

プロフェッショナル 人材活用で 「攻めの経営」へ



プロとともにさらなる成長へ、発展へ。

香川県プロフェッショナル人材戦略拠点は、地域の中堅・中小企業の「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起するとともに、地域と企業の成長戦略を具現化するプロフェッショナル人材の採用・活用を支援することによって貴社の経営革新を促し、ひいては地域と企業の活性化を目指しています。



主な事業内容

1

企業訪問・経営相談等により、
潜在成長力のある
企業の掘り起こし及び意欲の喚起

2

香川県に登録された
多数の人材紹介会社との連携等により、
企業とプロフェッショナル人材(副業・兼業を含む)
とのマッチング支援

3

企業と求職者
双方に対するフォローアップ

4

県内企業の経営者向け
セミナーの実施



企業の皆様、まずは、プロフェッショナル人材戦略拠点にご相談ください

香川県プロフェッショナル人材戦略拠点

香川県高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1階

☎ 087-867-3520 FAX.087-869-3703 E-mail▶ jinzai@kagawa-isf.jp



企業様からの
相談無料

知り得た企業等の
機密情報については
守秘義務を遵守しますので
安心してご相談ください

商工中金だより

お客さまのライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野(カテゴリーS・E・T)を「差別化分野」と位置付けました。お客さまの企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup (スタートアップ支援)

スタートアップ特有の課題を踏まえた 一気通貫のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク ▶メザンファイナンス、外部アライアンスの活用 ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化
--	---

Esg (サステナブル経営支援)

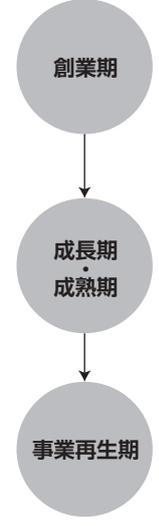
“SPEED”の視点*を活用した 事業性評価やお客さま支援を推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充 ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等 ▶中小企業組合、関係会社等との連携
---	---

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED・・・Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

TurnAround (事業再生支援)

専門性向上と対応力の底上げにより、 事業再生のトップブランドを構築	<ul style="list-style-type: none"> ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援 ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援 ▶人的資本の充実にに向けたサポート強化
--	---

(お客さまライフステージ)



- | | |
|-------------|---|
| 本業支援 | 事業性評価を起点とした本業支援
○ビジネスマッチング ○海外展開支援 ○事業承継 ○M&A 等 |
| 金融支援 | お客さま支援の基本となる金融支援
○資金繰り対策融資 ○セーフティネット機能の発揮 ○財務構築改革支援
○成長投資支援 等 |

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。
【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫
高松支店
 〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8
 TEL.087-821-6145
 FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

地域経済の産業活動の維持・発展のために、事業の譲渡、株式の譲渡、合併などにより経済的または社会的に有用な事業や企業を承継・集約する中小企業者および事業を承継・集約される中小企業者の資金調達の円滑化を支援します。
 詳しくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○事業承継・集約・活性化支援資金の概要

ご利用いただける方	1 中期的な事業承継を計画し、現経営者が後継者(候補者を含みます。)と共に事業承継計画を策定している方 2 安定的な経営権の確保等により、事業の承継・集約を行う方および当該事業者から事業を承継・集約される方 3 中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律(経営承継円滑化法)第12条第1項第1号の規定に基づき認定を受けた中小企業者(同項第1号イに該当する方に限ります。)の代表者、同法第12条第1項第2号の規定に基づき認定を受けた個人である中小企業者または同法第12条第1項第3号の規定に基づき認定を受けた事業を営んでいない個人の方 4 事業承継に際して経営者個人保証の免除等を取引金融機関に申し入れたことを契機に取引金融機関からの資金調達に困難になっている方であって、公庫が融資に際して経営者個人保証を免除する方 5 事業の承継・集約を契機に、新たに第二創業(経営多角化・事業転換)または新たな取組みを図る方(第二創業後または新たな取組み後、おおむね5年以内の方を含みます。)	
お使いみち	「ご利用いただける方」の1に当てはまる方が、事業承継計画を実施するために必要な設備資金および運転資金 外	
融資限度額 (いずれも別枠)	国民生活事業	7,200万円(うち運転資金4,800万円)
	中小企業事業	14億4千万円
ご返済期間 (うち据置期間)	設備資金	20年以内<うち据置期間5年以内>
	運転資金	10年以内<うち据置期間5年以内>
利率(年)	国民生活事業	基準利率、特別利率A、特別利率B
	中小企業事業	基準利率、特別利率①、特別利率②
担保	お客さまのご希望を伺いながらご相談させていただきます。	

〈支店窓口〉 **株式会社 日本政策金融公庫 高松支店**
 URL : <http://www.jfc.go.jp>
 〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274
 中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
 農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

引き続きインバウンド需要に支えられていることにより、
売上DIと収益DIは改善したが猛暑による消費活動への
悪影響を懸念する声から景況DIは悪化した。

2025年7月

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●日清製粉が5月に倉敷市児島に建設していた新工場が完成し、本格稼働を始めたと発表した。既存の岡山工場は7月に、坂出工場は9月に閉鎖予定である。今後、県内中小製粉会社は坂出港で原料小麦の調達が厳しくなる銘柄も見込まれる。(製粉製麺) ●組合員の販路拡大について、公益財団法人かがわ産業支援財団主催の食品商談会が予定されており、3社参加する。売上が減少気味な味噌業界だが、今後の動向に期待したい。味噌の価格については大手味噌会社の値上げの様子を見て値上げする傾向が昔からある。(味噌) ●日本冷凍食品協会による5月の冷凍食品生産数量は昨対106.4%となり3ヶ月ぶりに前年を上回った。カテゴリ別にはフライ揚げ物類が101.9%、フライ類以外の調理食品が106.0%、菓子類が120.2%と全カテゴリで前年を上回る結果となった。また、業態別では市販用は103.3%、業務用が112.5%となった。令和7年度の最低賃金について、中央最低賃金審議会(目安に関する小委員会)では、賃上げ率6%での論議が行われている。過去最大の賃上げになる可能性もあり、これらの動向に注視していきたい。(冷凍食品)
	繊維工業 	<ul style="list-style-type: none"> ●2か月連続で観測史上最高気温、且つ平年比+2.9度という7月が終わった。高温多湿の夏場は消費そのものが減退する、さらに少雨や高温の影響による食物の値上げに歯止めがかからず、生活マストアイテムではないものへの消費マインドはさらに冷え込む傾向にあり、非常に危機的な状況と考えられる。組合員企業にとっては、これからピークを迎える冬物の生産に追われる日々が今後は続くが、早めの秋の訪れが望ましいところである。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●トランプ関税の影響は感じないが、続く物価高の影響は大きく受注、売上減となっている。香川県産広葉樹利活用の家具づくりは林野庁からも注目されており、好評であるが、①材料の確保、②保管スペースの不足、③製材所の高齢化、④人工乾燥設備の不足など問題が多い。(家具) ●住宅価格の上昇により新築住宅需要が2割から3割減となっており、市場・小売・プレカット等、厳しい状況が続いている。生産側も原木不足で価格も高値で推移しており、原木の手当に苦労している状況である。(製材) ●物価高騰により新築住宅の建て控えが続き、着工戸数は減少を続け、業況は厳しいまま推移している。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●7月の単月については、前年の売上より増加した。決算月が9月なので残り2ヶ月、何とか売上を維持していきたい。
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●需要の低迷及び原材・諸資材高騰への対応について検討が必要である。(生コン) ●例年より早い急激な気温の上昇で、屋外作業を伴う仕事の延期が発生している。暑さで作業効率も悪く、今後この状況が毎年発生するのだと考えると頭が痛い。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●期が変わっての仕事が出始めている。ただ、今まで調子よかった企業が悪くなっているようである。目先の仕事はあるが、1ヶ月から3ヶ月先の仕事の状況が全く読めない。入ってきていない。引き合いもない状態である。(鉄鋼) ●県内物件は少ない状況が続き同業者間の連携強化、他社の加工協力で工場稼働率を一定程度確保している。しかし、受注単価の下落が続いており懸念される。また、図面の承認遅れに伴う製作スケジュールの調整が難しい状況にもなっている。(建設用金属)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●前月と同じく業況に変化はない。人員も仕事量も大きな変化はなく、低調に推移している。(造船)
その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●猛暑で顧客の購買数が低下している。特に、7月初めから8月初めまで悪い状況である。製造量も猛暑で減少している。(漆器) ●季節的な要因で売れていない。前期と比べても売上は良くない。(綿寝具) 	
非製造業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●異常気象により体調を崩す組合員が多く、これも高齢化の影響の一つであると考えられる。また、暑さで作物の状態が悪く物持ちも悪い。(青果物) ●予防的な激変緩和措置は継続して行われており、大きな価格変動はなく、安定していると思われる。ガソリン暫定税率廃止の議論は年内に本格的に行われると思われる。業界にとって様々な影響があるので注視する。県外安売業者による周辺地域SSへの収益圧迫の影響が出ている。(石油) ●高齢化・後継者不在による廃業で組合運営に支障が出る可能性が大きい。猛暑でエアコンがよく売れている、反面、冷蔵庫は苦戦しているが、冷蔵庫はバラバラ売れている。高温でソフトクリームよりかき氷がよく売れるのと似ている。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●7月に日本で大きな災害が起きるとの噂話を信じて、香港を中心として中国系のインバウンド客の来街が大きく減少しており、8月以降もこの傾向はしばらく続くと思われる。しかしながら、通行量はこれらの減少傾向を補う形で、日本国内の観光客(若年層中心)が今春以降急激に増えており(本年2月に高松市が行ったインフルエンサー招聘による情報発信や県内各所で行われる大型イベント、瀬戸内国際芸術祭、大阪関西万博からの回遊の影響もある)、週末を中心に賑わいと活気が商店街に出ている。高額品需要は依然堅調で特に輸入雑貨品、宝飾品、時計は年に何回も円安を起因とした商品の値上げが行われているにも拘わらず、それらも乗り越えて需要が高止まりしている。(手放す際の転売価格も高値安定しているためか?)地元百貨店が昨年は6月後半に夏のセールを開始したが、本年は7月に後倒ししての開催となったため、7月は暑さも手伝い、季節品の動きが良く、商店街でも衣料品、雑貨共に何とか前年並みの数字を確保することができた。(6月は前年割れとなった)商店街内では、秋に向けて集客力のある新店のオープンが続き、また、観光客の増加も期待でき、見通しは明るい。ただ、消費環境は終わりの見えない物価高により、多くの地元客は疲弊し購買意欲を落としており、上向き状況にはない。国政選挙は終わったものの、政局も不安定化しており、効果的な経済対策も打てない状態にあり、期待が持てない。酷暑の中にあっても街に集客力が出ていることから、めげずに販売力向上のサポートを惜

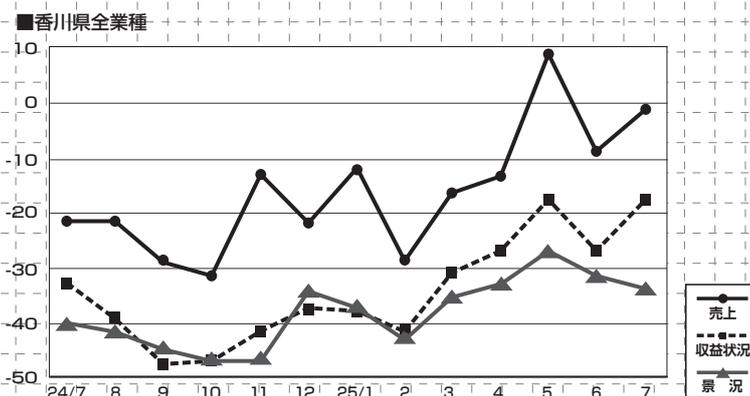
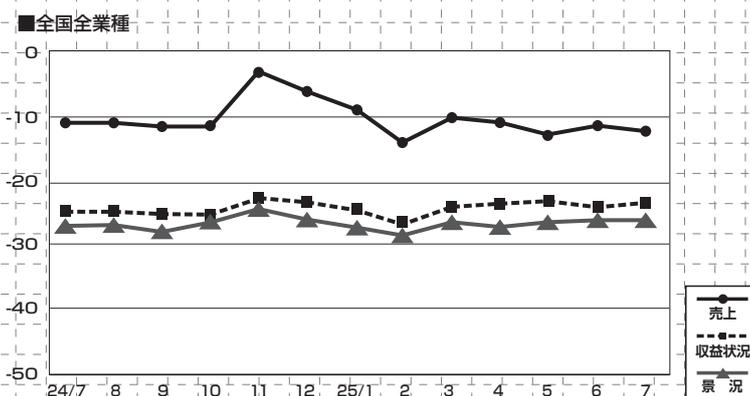
7月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は-2.1ポイントで前月調査の-8.3ポイントから6.2ポイントの改善、収益DI値は-16.7ポイントで前月調査の-27.1ポイントから10.4ポイント改善、景況DI値は-35.4ポイントで前月調査の-33.3ポイントから2.1ポイントの悪化となった。

非製造業	商店街	<p>しまず行っていく考えである。(高松市①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●7月は連続の猛暑日による人々の疲れ、中旬以降は選挙や物価高騰等の要因によるものか買い物客は少ないように思われた。(高松市②) ●トランプ大統領による関税問題等から物価が上昇し、商店街の通行量の減少など、酷暑による来街者の減少で販売不振による閉店が2店舗発生し、厳しい夏商戦になりそうである。(丸亀市①) ●あまりの暑さで、高齢者を中心に外出を控えているようで、街はとにかくガランとしている。観光客も車の移動が主になっていて、人が歩かなくなっている。廃業・閉店する店が出ている。破産宣告を受けて、弁護士事務所から連絡の入った店も一軒あった。(丸亀市②) ●月に数日、美容技能者のアルバイトを雇っているが、世間のニュースに倣って多少でも賃上げが必要かも知れない。多人数雇っている事業所はより経営を圧迫する事になると思われる。現実問題、価格転嫁が今の地方の零細事業者には、無理・不可能であると感じる。(観音寺市)
	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ●全国高校総文祭の影響もあり、一般的に稼働しているが、7月の前半は、ある意味夏休み前で、出張も一段落し、海外からのインバウンド客も若干勢いがなくなり、という感じで厳しい状況であった。海外からのインバウンド客は、民泊への思いが強く、街にあふれそうほど来ていた中国人はごく一部の団体旅行を除き、民泊が中心になっていると感じる。本年は、この後瀬戸内国際芸術祭で各施設収益は確保するであろうが、香川県の人気はある意味落ち着きそうであり、新たな起爆剤の投入、開発を進めないと、この数年で1.5倍以上増加したホテルの客室を満たせない状況になると思う。(旅館) ●ここ10年来、美容業では組合員の減少に歯止めがかからず、全国連合会に於いて、各都道府県持ち回りで組合加入促進モデル事業を実施し、新規加入者の獲得推進をしているものの、組合員の高齢化並びにオーバースタの影響を受け脱退者がそれを上回り減少の一途を辿っている。(美容)
	建設業	<ul style="list-style-type: none"> ●令和7年6月1日から職場における熱中症対策を強化するため、改正労働安全衛生規則が施行され、熱中症の重篤化を防止するため、「体制整備」「手順作成」「関係者への周知」が事業者には義務付けられたこともあり、現場作業員の飲料をはじめとし、空調室の設置、空調服の配布等々、経費は増加する一方となり、現場環境改善費ではまかなえない状況である。(総合建設) ●資材関係の販売量が減少している。(水道工事) ●大型案件並びに新築住宅件数も減少している。(板金工事)
	運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ●令和7年6月の輸送実績は対前年同月比で営業収入105.9%、輸送人員は112.1%となった。(タクシー) ●令和7年6月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は0.5%減となり、対前月比では0.4%減となった。また、6月分利用車両数の対前年同月比は1.8%増となった。(トラック)

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況	
製造業	食料品	☀️	☀️	☁️
	繊維工業	☁️	☁️	☔️
	木材・木製品	☔️	☔️	☔️
	印刷	☀️	☔️	☔️
	窯業・土石製品	☔️	☔️	☔️
	鉄鋼・金属製品	☁️	☔️	☔️
	輸送用機器	☀️	☁️	☁️
	その他	☔️	☔️	☔️
非製造業	卸売業	☀️	☀️	☁️
	小売業	☔️	☔️	☔️
	商店街	☔️	☔️	☔️
	サービス業	☀️	☁️	☁️
	建設業	☔️	☔️	☔️
	運輸業	☔️	☔️	☔️
	その他	☁️	☁️	☁️

DI値の推移 (対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧いただけます。
<http://www.chuukai-kagawa.or.jp/>